

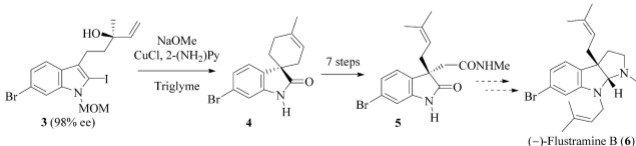
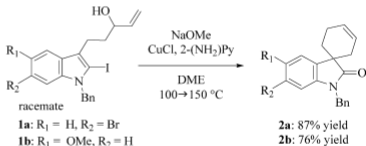
# 27J-am10

芳香環に置換基を有するスピロオキシインドールのワンポット合成法の開発と (-)-Flustramine B の全合成への応用

○平野 友宏<sup>1</sup>, 宮本 大志<sup>1</sup>, 中崎 敦夫<sup>1</sup>, 小林 進<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京理大薬)

【目的】最近我々は、アリールアルコールを有するヨードインドールに対し、分子内 Ullmann カップリングと Claisen 転位をワンポットで行うと、スピロオキシインドールが高収率かつ高立体選択的に得られることを報告している<sup>1</sup>。今回我々は、本手法を芳香環に置換基を有する基質に適用し、さらに、天然物合成への応用として(-)-Flustramine B (**6**) の全合成を検討した。

【結果】ヨードインドール **1a**、**1b** に対してワンポット反応を行ったところ、スピロオキシインドール **2a**、**2b** を得ることができた。同様の手法を光学活性なヨードインドール **3** に適用したところ、期待した反応とともに脱保護まで進行した **4** が得られることを見出した。さらに 7 工程の変換を経ることで、環化前駆体 **5** まで導くことが出来た。現在、川崎らの手法<sup>2</sup>による **6** の全合成を検討中である。



1) *Angew. Chem. Int. Ed.* **2006**, *45*, 2274. 2) Kawasaki, T. *et al. Chem. Commun.* **2006**, 420.